

宮永岳彦記念美術館だより

2019 5月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100



常設展示室



●●● 展示作品より今月の一点 ●●●
《 カレンダー原画 》



シャッターチャンスを見逃さず、被写体の最も輝いた一瞬を捉えるカメラマンのように、宮永は、はっとしたような女の子の一瞬の表情を捉え、生き生きと描きました。

この作品は、企業のカレンダーとして描かれたもので、宮永は、グラフィックデザイナーとして、この作品のように愛らしい表情や仕草の子どもをたくさん描いています。

晩年の宮永は、油彩美人画に専心し、華麗で優雅な作品を生み出しますが、巧みに一瞬を切り取り、大胆で的確な筆遣いによって描く、グラフィックデザイナーとして培ったセンスと技術は、油彩美人画の創作における確固たる礎になりました。

本展では、宮永が企業のカレンダーのために描いた、愛らしい子どもの絵を多数展示しております。子どもたちの豊かな表情と、子どものいる情景をお楽しみください。

原画 制作年不明 41.0×49.0

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

宮永岳彦の思い出 ~写真とともに~

戦後、秦野の両親の元に戻った宮永は、銀座松坂屋の宣伝部に勤め始めます。物資が不足し売物がないデパートのショーウィンドウを飾るために、「謹賀新年」「入学お芽出とう」といった童画を描きました。敗戦ですさんだ人々の心が少しでも和むようにと願ったことでした。

華麗で優雅な美人画で名声を博す宮永ですが、そのキャリアにとって童画は欠かせないものとなりました。

ポスターの前で
(銀座松坂屋勤務時代)

市民ギャラリーのご案内

入場無料

秦野スケッチ会 おしゃべり展覧会

5月1日(水・祝)~5月6日(月・祝)

10:00~17:00 (初日 13:00から 最終日 15:00まで)

美術鑑賞は脳を活性化するとか。私達1年のスケッチの成果を見ながら、おしゃべりし楽しいひと時を過ごしてください。

秦野美術協会 工芸部会展

5月15日(水)~5月19日(日)

10:00~17:00 (最終日 15:00まで)

第4回秦野美術協会工芸部会展を開催します。会員の自信作を多数展示しますので、どうぞおいでください。

水彩スケッチ四季 水彩画作品展

5月21日(火)~5月26日(日)

10:30~16:30 (初日 13:00から 最終日 15:00まで)

秦野市で活動している水彩画グループの発表会です。透明水彩の明るく爽やかな水彩画をお楽しみください。

みなせ・丹沢合同写真展

5月28日(火)~6月2日(日)

10:00~17:00 (初日 13:00から 最終日 15:00まで)

「瞬間の感動を記憶に残す」をキーワードに会員が日頃撮りためた様々な作品を展示いたします。

2019.6月の市民ギャラリー展覧会の予定

第17回 秦野写真連盟 写真展(仮)

6月11日(火)~6月16日(日)

高橋 光久 写真展 金時山からの絶景+α

6月18日(火)~6月23日(日)

KEI 押し花倶楽部 作品展(仮)

6月27日(木)~6月30日(日)

※ 5月1日(水)より11月分までの予約を受け付けます。



5月の休館日：7日(火) 13日(月) 20日(月) 27日(月)